

## NEW GOODS

### 日曜左官向け珪藻土 「リターナブルパウダー」

シリックス社新開発のリターナブルパウダーは、北海道の珪藻土・粘土・火山灰を原料とした下塗り不要の高機能塗壁材です。つなぎ材には古紙を再生したセルロース繊維を使用し、セメントや樹脂系硬化剤を使用していません。再利用もでき土にも還る、より健康面に配慮し誰もが安心して使用できる珪藻土建材になりました。

仕上材価格  
1袋12kg (6㎡) 24,000円  
(1㎡当たり4,000円)

シリックス社には「ISパウダー」というリーズナブルな価格の下塗り不要タイプの珪藻土もあります。こちらはアクリル樹脂配合品。

仕上材価格  
1袋8kg (7㎡) 11,000円  
(1㎡当たり1,570円)

お問い合わせ 011(774)8599

キッチン床のテラコッタタイルは施工前に住人がロボの自然塗料で仕上げから施工した。



床のフローリングや建具、そして壁の珪藻土もセルフトで仕上げ。



#### 仕上塗り

珪藻土材料を大きめのバケツに入れ、水と混ぜ合わせる。この時しっかりとミキシングしなければ後でムラが出てしまうので、ハンドミキサーを使った方が良い。材料が出来上がったらいよいよ塗り始める。

一気に厚塗りはできないので、一度中塗りで肉圧を付けてから仕上塗りをしていく。あまりきれいに仕上げようとせず、コテむらをうまく使ってラフに仕上げるのが簡単な珪藻土の仕上げ方。けっこうイケル！

6帖間の壁なら1人で2日の工程で出来上がるので、週末の日曜左官に挑戦してみてもいかがですか。

家は買う物ではなく造るもの。  
住人参加の住まいづくり、始めましょう。



マイホームの珪藻土仕上げをするご主人。

# エコロジー 素材自店

そざいじてん

## 「エコロジー住宅を目指して」

エコってる、エコりたい人のための  
エコ素材自店 第10回の店開きです。

環境先進国ドイツには、コーポラティブ方式によるエコロジー住宅団地がいくつもあります。日本ではまだ始まったばかりですが、ドイツでは15年以上前から行われているのです。

コーポラティブ方式とは住民が参加する住宅づくりの手法で、複数の住人が建設管理組合を結成してコーディネーターや建築家と一緒に住宅をつくっていく方法です。集合住宅の場合は土地代や建設費の負担が少なくなる上に、間取りや仕上げなども自由になるなどのメリットがあります。

日本国内では5000戸以上の住宅が建てられているようですが、北海道ではほんのわずかな実例があるだけです。これは土地代が比較的安いから、コーポラティブ方式のメリットをあまり感じなかったからなのでしょう。しかしここ数年、エコロジー意識が高まるにつれ、環境共生型コーポラティブ住宅というドイツに見られるようなスタイルの住環境づくりも始まっています。この手法は今後、北海道でコーポラティブ方式が成立するための最大のポイントになるだろうと思います。

環境共生住宅は、自然環境を守りながら健康で快適な生活がおくれる住宅のことをいい、エコロジー住宅とも呼ばれています(本誌P39参照)。

住宅をエコロジカルにすると何故か建築コストが高くなってしまっている現状ですが、そのかわりエコロジー意識の高い住宅ほど地球環境に対する負担を少なくし、私達の体と精神の健康に良い影響を与えてくれます。結

果として住宅の寿命も長くなり、建築におけるゴミの量も減ることになります。

そして建物や周辺の緑化は、自然と暮らす住まいをより身近に感じることができそうです。

建設コストを抑えてエコロジーのために使う。エコロジー住宅を実現するためには、コーポラティブ方式は有効な手法といえるでしょう。



### 家づくりに参加する

ドイツのエコロジー団地では住人自らが工事に参加するセルフビルドが取り入れられていて、なんとこの労働力が建設資金の一部として法律で認められているのは驚きです。

そのため家を建てる人達の多くが建設工事に参加しているの、自分たちが使う安全でエコロジカルな建材や塗料などに対する目も厳しくなっているでしょう。ドイツで10%、オーストリアでは50%以上の住宅が自分自身で建てていると言われます。

僕たちの周りにも「せめて仕上げ工事は自分でやる」という住人たちが少しずつ増えてきているように思えます。

床のフローリングやウッドデッキを植物性の自然塗料で塗る人、壁紙のクロスでは満足できないので珪藻土を自分で仕上げる人などが相談に来ています。

緑に囲まれた、ドイツのエコビレッジ。



### 住人参加のコーポラティブ住宅



エコビレッジに住みたい人集まれ!

## 緑と暮らす住まいづくり「藻岩下エコビレッジ計画」参加者募集!

こちらのホームページで詳しい内容がご覧になれます。 <http://www.saijo-d.com>

緑に囲まれたビレッジには子供や虫たちのための森や菜園や池があり、木の板で覆われた住宅の屋根や壁にも緑がある。こんな自然あふれる環境で暮らしてみたいと思いませんか?

札幌・藻岩山で自然が大好きな人たちが集まって暮らすコミュニティづくりを始めます。興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

## 自然素材に囲まれた、気持ちの良い家づくり

エコロジー住宅・建築・設計・監理・コーディネート

住環境、自然素材に関するご相談やご質問を承っております。商品に関するお問い合わせもお気軽にどうぞ。

一級建築士事務所  
(有)西條インテリアデザイン

☎ 011(774)8599 ☎ 011(774)8581

本社 / 札幌市北区百合が原4丁目8の1 (百合が原公園向かい)  
伊達支店 / 伊達市舟岡町50-28 ☎ 0142(22)0138

### 珪藻土を塗ってみよう

珪藻土の塗り壁は部屋の湿度を吸ったりはいたりする吸放湿機能に優れていて、空気をきれいにして結露防止にも役立つことから、ここ数年で人気の壁仕上材となりました。

やわらかな自然の色合いと素朴な質感は、精神的な安らぎも感じさせるオススメの一品! 左官屋さん気分になり自分の気に入ったパターンをラフに仕上げるなら、家族や友人を集めてトライするのも良いですよ。

今回は下塗り無しで仕上げられる珪藻土を使った施工を簡単に紹介します。(新築編)

#### まず養生から

窓や建具枠・巾木廻りをマスキングテープで養生。この時、珪藻土の塗り厚分約3ミリ離して貼る。床の養生も忘れずに!

#### 下地処理

下地は石膏ボードでジョイント部がV目地になるカットボードを貼ってもらおう。そのジョイント部分に糊付きのジョイントテープを貼り付け、専用のパテをヘラで擦り付ける。ビス頭のパテも忘れずに。これで1日目終了。



自分の家は自分で仕上げる。



一級建築士事務所  
(有)西條インテリア  
デザイン  
代表取締役

■筆者・西條正幸プロフィール■

エコロジーデザイナーです。  
伊達市出身昭和35年生まれ40歳  
札幌を中心に商業施設のインテリアデザインとして活動してきましたが、現在は人と環境にやさしい居住空間をテーマにエコロジー建築の設計から施工の相談、エコロジー建材のコーディネートなどに従事しています。